

令和元年度 第3回 大阪府立泉南支援学校 学校運営協議会記録

1 日 時 令和2年2月17日（月）10:00～11:30

2 場 所 大阪府立泉南支援学校 会議室

3 次 第

- (1) 開会 校長あいさつ
- (2) 学校運営協議会委員紹介
- (3) 事務局員紹介
- (4) 協議及び報告

◆報告1

○各学部の児童生徒のようす

- 小学部…「～しよう！」という自主的な気持ちを育てる指導が基本。各学年それぞれの段階での成長ぶり。中学部へ向けて、6年生は特に期待と不安の3学期。
- 中学部…小学部から引き継ぎ、高等部へと送り出す役目を担う指導。マラソン大会や作品展は各生徒の得意な力を発揮できる機会。来年度の校区拡大に伴う課題への準備。
- 高等部…社会に出た時に自分でできることを少しでも増やすことを基本に指導。高3生は着実に成長を重ね、卒業式が学生生活の集大成。

○令和元年度居住地校交流の実績について

- 小学部…
 - ・ゲームなど一般校、支援学校との垣根なく皆で取り組める体験的な活動や教科指導など、児童同士で楽しめる交流内容。
 - ・6年間交流を続けてきた小学校の教員が「ずっと交流してきたみんなが、この先、もしも困っている場面に出会った時、助けの手を差し伸べられるひとになってほしい」と児童たちに伝えてくれたことが印象深い。
 - 中学部…今年度より開始。小学校から中学部に来た生徒の思い「離れ離れになった友だちに会いたい！」を交流の場で実現。
- ※来年度からの校区拡大による課題が予想されるが、できるだけ充実させていきたい。

○令和元年度進路指導進捗状況について

- 今年度の進路先（高3生計34人）は、企業就労7人、A型事業所2人、訓練校1人、事業所（B型・生活介護・自立訓練）23人、未定1人。

○大規模災害初期対応訓練について

- ・1月9日、すながわ高等支援学校と合同で実施した地震避難訓練の後に実施。
- ・事前打ち合わせから協力して行い、今後、検討していかなければならない課題を改めて確認。

◆協議1

○令和元年度学校教育自己診断の集計結果について

- ・保護者からは全般的に高評価を得たが、いじめについての項目で「わからない」が25%もあるので、対応の工夫を考えたい。
- ・教員向けアンケートで、危機管理マニュアルの周知に課題が見られたので改善したい。
- ・マニュアルの周知については、どこでも懸案事項。実際の事例に基づきながらの共有や、なぜマニュアルが必要なのか、趣旨の理解が必要。

◆協議2

○年間協議テーマ「地域と連携・協働した取り組みについて」

今回の協議題「地域と学校がパートナーとして協働するために、学校・教員に求めたいもの」

【趣旨説明】（校長）

地域交流を中心に取り組んでいく中で、今年度の卒業後の進路指導は順調に進み、スムーズに決定することができた。これも、地域の企業、事業所の方々からのサポートのおかげ。

「地域と関わるとこんないいことがある」といった情報や、地域と関わる工夫など教えていただきたい。

【意見交換】

- ・福祉事業所に所属しているが、地域の商工会と連携し「まちゼミ」事業として、「陶芸」「パン作り」を実施した。障がい者自身が指導にあたり、市民の参加が多く、好評だった。こちらからの発信の機会となった。
- ・知ってもらうための発信する機会が大切。子ども総合支援センターでも、見学会の際、障がいのあることが特別なことではないことを実感されることが多い。また、表面に見えない障がいがあることを知ってもらう機会にもなっている。
- ・本校の作品展の際に、生徒の作った物品や野菜の販売があったが、それを拡大し、定期的に地域の皆さんにも購入してもらい、支援学校を知ってもらう機会を増やしてはどうか。
- ・最近「開かれた教育」の機会を増やすように言われている。学校の中だけでなく、外部からの講師を招き、地域に発信したり、高齢化社会の昨今、認知症の対応に、知的障がい教育のノウハウが生かされたりするのではないか。
- ・地域社会と支援学校が、困難や課題に直面した時、パートナーとして、「こんな情報なら提供できる」と、双方が役割を意識して連携していける社会が望まれる。

◆報告2

○平成31年度学校経営計画について

『安心・安全+快適』 3つの柱「危機管理」「専門性」「生きる力」

○令和2年度学校経営計画について

前年度の計画を継続しつつ、授業の専門性、新学習指導要領に準拠した授業改善、ティーム&ティーチングの研究など、さらに充実を図る。

◆事務連絡

○次回予定；令和2年度第1回学校運営協議会は、令和2年6月中に開催予定。

(5) 閉会 校長あいさつ